博士前期課程（修士） / 実践看護学領域 / 子どもと家族の看護学分野

科目コード：230001

子どもの発達援助論 Child Development and Health

担当教員	西村 真実子、木村 賛				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義
必修・選択	選択	時間数	30		
Keywords	子ども、成長・発達、理論の活用少子化、育児不安・困難、虐待、子育て支援、ペアレンティング・プログラム				
学習目的・目標	<p>目的：子どもと家族を生涯発達の視点から捉え、子どもの成長・発達、健康生活、家族や養育環境、これらをサポートする看護職の機能について理解を深めるために、関連する理論・概念、関連領域の知識や研究知見について学ぶ。</p> <p>目標：</p> <p>1)子どもの成長・発達や健康、子育てをする家族の健康に関する理論・概念、関連領域の知識や研究知見を理解できる。</p> <p>2)看護における理論や概念の重要性と、理論や概念を実践活動にどのように応用・活用していくことができるかを理解できる。</p>				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1, 2	1) 生涯発達の視点、発達過程と発達段階 2) 発達理解の鍵となる重要な見解 3) 親(母)子関係の理論：ボウルビーの愛着理論 4) 理論や概念を学ぶ意味			講義/討論	西村
3	精神分析理論 (1)フロイトの心理学的理論 (2)エリクソンの心理社会的理論			プレゼン/討論/講義	西村
4	認知理論 (1)ピアジェの認知発達理論 (2)ビゴツキーの社会文化的認知理論 (3)情報処理過程理論			プレゼン/討論/講義	西村
5	行動学的社会認知理論 (1)パプロフの古典的条件づけ (2)スキナーのオペラント条件づけ (3)バンデューラーの社会認知理論			プレゼン/討論/講義	西村
6	1) 動物生物学的（動物行動学）理論（ローレンツら） 2) プロッフェンブレンナーの生態学的理論			プレゼン/討論/講義	西村
7	子どもの養育環境Ⅰ：少子化とその背景			プレゼン/討論	西村
8	子どもの養育環境Ⅰ：少子化対策			プレゼン/討論	西村
9, 10	9 子どもの養育環境Ⅱ：育児不安・育児困難の現状とその背景 10 子どもの養育環境Ⅱ：子育て支援の現状と課題			プレゼン/討論	西村
11, 12	11 子どもの養育環境Ⅲ：発達障害及びとりまく現状 12 子どもの養育環境Ⅲ：発達障害をもつ子どもと家族への支援			プレゼン/討論	西村
12, 13	子どもの運動発達 1) 新生児の姿勢能力と運動能力 2) 乳児の姿勢反射と姿勢発達過程 3) 乳幼児の運動発達過程とくにロコモーション発達 4) 乳幼児の運動能力と環境 5) 乳幼児の体成長と環境、その時代差			講義/討論	木村
14	家族を理解するための諸理論の概観と子どもと家族への看護における活用(子どもと家族のアセスメント、援助方法等) 1) 構造・機能的アプローチ 2) 家族発達理論 3) 家族システム理論 4) 家族ストレス対処理論			プレゼン/討論	西村
15	カルガリー家族看護理論			プレゼン/討論/講義	西村
教科書	なし				
参考図書等	<p>1 Jhon W.Santrock:Life-Span Development,McGraw-Hill,2006</p> <p>2 鈴木和子、渡辺弘子：家族看護学 理論と実践第2版、日本看護学会出版社、1999</p> <p>3 森山美知子：家族看護モデル アセスメントと援助の手引き、医学書院</p>				
評価指標	<p>1 出席状況・授業への参加状況 40%</p> <p>2 プレゼンテーション 40%</p> <p>3 事前学習 20%</p>				
関連科目					

教員から学生への メッセージ	
-------------------	--